

令和元年度
「鹿児島県地域両立支援推進チーム」
会議概要

1 開催日時及び開催場所

- (1) 日時；令和元年9月17日（火）10：00～11：40
- (2) 場所；鹿児島合同庁舎3階 第2会議室

2 参集団体（順不同）

独立行政法人労働者健康安全機構鹿児島産業保健総合支援センター 国立大学法人鹿児島大学鹿児島大学病院 国立大学法人鹿児島大学大学院 独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター 公益財団法人鹿児島県民総合保健センター 鹿児島県社会保険労務士会 日本労働安全衛生コンサルタント会鹿児島支部（欠席） 日本医療社会福祉協会 一般社団法人日本産業カウンセラー協会 日本キャリア開発協会 公益社団法人鹿児島県医師会 公益社団法人鹿児島県薬剤師会 公益社団法人鹿児島県看護協会 鹿児島県経営者協会 日本労働組合総連合会鹿児島県連合会 公益社団法人鹿児島県労働基準協会 若年性認知症支援コーディネーター 鹿児島県くらし保健福祉部 鹿児島労働局（職業安定部職業対策課、同職業安定課、雇用環境・均等室） 事務局（鹿児島労働局労働基準部健康安全課）

3 主な議題

- (1) 労働局説明
- (2) 鹿児島産業保健総合支援センター説明
- (3) 鹿児島治療と仕事の両立支援セミナー開催について
- (4) 意見交換

4 会議概要

冒頭、座長として独立行政法人労働者健康安全機構鹿児島産業保健総合支援センター所長を選任し、以下の議事を進行した。

(1) 労働局説明

① 事務局より

鹿児島県地域両立支援推進チーム設置要綱、参集者名簿兼連携一覧表、鹿児島県地域両立支援推進チーム作成リーフレット、鹿児島労働局ホームページ（セミナー開催記事の掲載及び各参集者とのリンク）、治療と仕事の両立支援概要等について説明

② 鹿児島労働局職業安定部職業安定課より

長期療養者就職支援事業、求職・離職中の社会保障制度、がん患者等就職支援事業の実績、ハローワークかごしまによる就職支援等について説明

(2) 鹿児島産業保健総合支援センター説明

鹿児島産業保健総合支援センター利用案内、両立支援相談窓口、両立支援助成金、両立支援取組事例等について説明

(3) 鹿児島治療と仕事の両立支援セミナーについて

① 事務局より以下について説明

ア 令和元年10月29日(火)13時30分より16時10分まで ホテル ウェルビューかごしまにて開催予定であること

イ 登壇者の紹介

ウ 100名規模の会場につき、周知及び集客をお願いしたいこと

② 受託者である株式会社日本経済社より、セミナー開催の意義及び全国の開催状況等について説明

(4) 意見交換

鹿児島県地域両立支援推進チームを結成して2年が経過したことから、これまでの取組状況より課題を把握し、原因や解決策等を検討することにより、今後の鹿児島県地域両立支援推進チームの取組に資することを目的として、以下の二つの課題を選定し意見交換を行った。

① 両立支援に関する事業場の取組について(意見抜粋)

- ・鹿児島産業保健総合支援センターからスタッフを派遣してもらい講演をしていただいたが、事業主の意識は必ずしも高いとはいえず、今後も周知が必要。
- ・両立支援に取り組んでいる企業の共通していることはトップの決断・意識改革である。今後も事業主に対する研修等が必要である。
- ・特に中小企業の取組が遅れている。就業規則に病気休暇等を規定している事業場は少なく、経費もかかるので導入が難しい。
- ・医療機関への入院中もしくは退院後の服薬指導等の機会に労働者へも意識付け及びアドバイス等が必要。薬も進歩して副作用も少なくなってきたので、服薬しながら仕事と両立ができることも周知すべき。

② 主治医と事業場・産業医等医療スタッフとの連携について(意見抜粋)

- ・経営者に対し両立支援のアドバイス等を行う産業医の役割は重要である。産業医研修においては両立支援に関する講義も行っている。
- ・医療機関として労働者(患者)より両立相談を受けたが、鹿児島産業保健総合支援センターを介して事業場と連携をとった事例あり。パンフレッ

トやホームページで周知する、質問票により両立の希望を把握する、院内で関係者に研修を実施する等して連携に努めている。

- 県内の医師の人数に対し産業医が少なすぎるので産業医を増加させることが必要。
- 患者に病気の宣告を行う医師が、治療とともに仕事との両立についても併せてアドバイスを行うことが両立支援への第一歩である。
- 患者からの相談を受ける際は、治療のほかに生活面が主であるが、患者の治療の進み具合に併せて仕事との両立についてもアドバイスを行ってきたい。